

## AXIS Digital Autotracking 2

### 移動する物体を自動追尾



- > 動く被写体を自動検知・追尾
- > 必要な帯域幅とストレージ容量の減少
- > 効率的なライブモニタリング
- > 設定が簡単
- > AXIS誤報フィルタリング

AXIS Digital Autotracking 2は、移動する物体を自動的に検知、拡大、追跡し、広いエリアをカバーすることができる、AXISのメガピクセル固定カメラ専用のアプリケーションです。オペレーターのライブモニタリングの負担が軽減され、事象の発見と対応を効率的に行うことができます。また、移動する物体にズームインし、シーン中の変化のない部分の情報は破棄するので、配信に必要な帯域幅とストレージ容量を低減することができます。

AXIS Digital Autotracking 2は、人や車両など、移動する物体を検知し、追尾します。PTZカメラの機械的な自動追尾とは異なり、1つの物体にロックオンし、連続追尾することはなく、すべての物体が移動するシーンに適応するため、事象を見逃すことはありません。

アプリケーションは、照明条件が異なる、屋内外のほとんどの設置環境に対応します。駐車場、周辺監視、学校、オフィス、店舗の就学、就業時間外の監視など、往来の少ないエリアの監視に最適です。

AXIS Digital Autotracking 2は、簡単に設定することができます。検知エリアはカメラの視野によって決まりますが、シーンの一部の動きを無視するように設定することができ、設定をリアルタイムで視覚的に確認できる直感的なユーザーインターフェースにより、アプリケーションが物体を正しく検知しているかを容易に検証できます。

AXIS誤報フィルタリングを使用すれば、ヘッドライト、揺れ動く木々、小動物などの追尾の必要がない動きを無視することができます。

アプリケーションは、カメラが内蔵するイベント管理機能と統合し、さまざまなシステム通知を行うことができます。

## 技術仕様 - AXIS Digital Autotracking 2

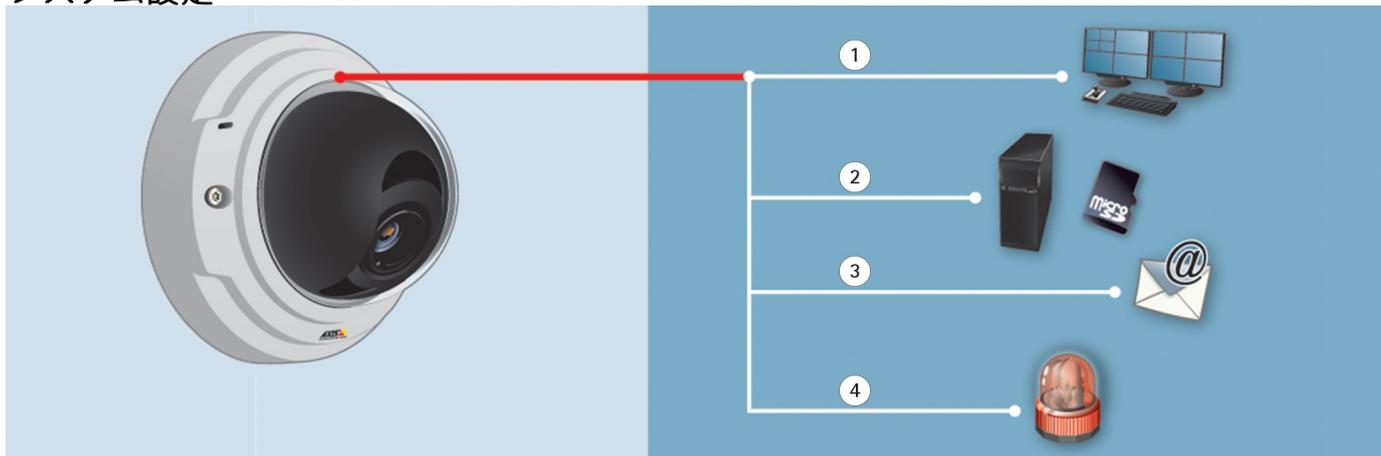
アプリケーション	
モデル	AXIS Camera Application Platformおよび互換性のあるファームウェアをサポートするすべてのPライン、Qラインメガピクセル固定カメラ 全リストについては、 <a href="http://www.axis.com">www.axis.com</a> をご覧ください。
設定	特定の領域と物体を除外するように設定し、アプリケーションの信頼性を最大限に高めることが可能 映像による設定確認
シナリオ	
代表的な用途	店舗、駐車場、就業時間外のオフィスなど往来の少ないエリア
制限	豪雨や豪雪などの気象条件により、検知精度が低下する場合があります。
保管条件	AXIS Digital Autotracking、SVGA (800×600) での比較: 連続録画/ストリーミング <sup>a</sup> : ストレージ/帯域幅の必要量が約90%減少。Video Motion Detection (VMD) <sup>a</sup> : ストレージの必要量が約70%減少。

システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	ONVIF (仕様は <a href="http://www.onvif.org">www.onvif.org</a> で入手可能)、Axis CommunicationsのVAPIX <sup>®</sup> (仕様は <a href="http://www.axis.com">www.axis.com</a> で入手可能)をはじめとする、ソフトウェアインテグレーションのためのオープンAPI
ビデオ統合	カメラのイベント管理システムと統合し、ビデオ管理ソフトウェアへのイベントストリーミング、I/O制御、通知、エッジストレージなどのカメラアクションが可能
一般	
言語	英語

a. 2メガピクセル解像度、30フレーム/秒。減少率は、ビデオの解像度、圧縮率、撮影場所における動きの程度により異なります。

詳細については、[www.axis.com](http://www.axis.com) をご覧ください。

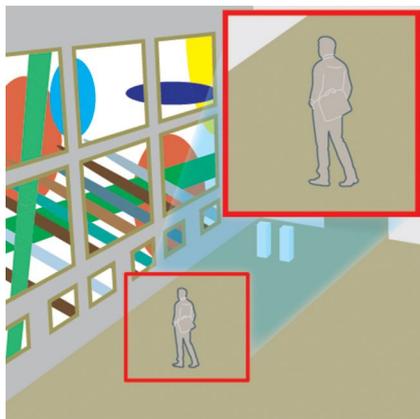
### システム設定



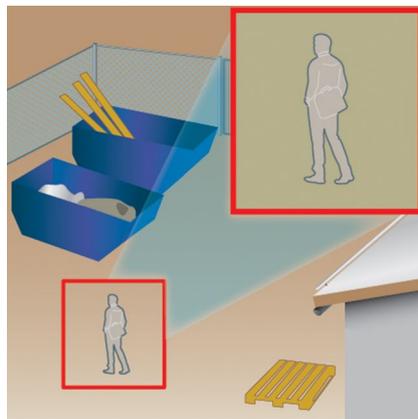
1. ライブモニタリング: 2. 録画とイベントの記録: 3. 通知: 4. I/O制御

### 代表的な用途

博物館の展示室



工事現場



駐車場

